

## 熊本野生生物研究会の歩み その2

千原台高校 坂田 拓 司

熊本野生生物研究会は1985年12月7日に熊本野生動物研究会として発足し、1995年に現在の名称に変更し、今年（2002年）で17周年を迎えます。発足から1991年までの活動については、熊本野生動物研究会誌第1号（1992）で紹介されています。今回、1992年度以降の活動について報告します。なお、1991年のアフリカ自然察会及びその成果については熊本野生生物研究会誌2号（1996）をご覧ください。

今後も研究会を継続し、県内の野生生物の調査研究を行い、紹介していきます。会員の皆様のご協力をお願いします。

### 1992年度

1. 第7回総会 1992/2/8 熊本市動植物園動物資料館 23名  
・役員改選に伴う会則改正
2. 第7回会員研究発表（総会后）
  - ①コメツキガニに寄生する二生寄生虫について …鎌賀厚次
  - ②アフリカ・ビデオ自作教材発表 …歌岡宏信
  - ③アフリカ・スライド自作教材発表 …北田薫 天野守哉
  - ④野生動物の都市定住化現象の研究 …松岡秀樹
3. 第3回定例談話会 8/6~7 熊本県立農業大学校付属草地畜産高等研修所及びその周辺 11名  
講演「ササ類の開花結実と野ネズミの大発生」  
九州歯科大学 荒井秋晴博士  
講習 野外における野ネズミの捕獲法及び外部形態測定法
4. 機関誌「SIGN POST」  
Vol. 7, No. 1 (3/23)  
・第7回総会報告  
・1991ケニア旅行  
・資料利用実績報告  
Vol. 7, No. 2 (7/4)  
・ハタネズミの大発生する阿蘇北外輪山に行く (矢加部)  
・会誌発行に寄せて (長野)  
・1991ケニア旅行資料実績報告Part II  
Vol. 7, No. 3 (12/28)

・定例談話会報告（ネズミ亜目の分類、野ネズミ類の分布、同定法、外部形態測定法）

### 1993年度

1. 第8回総会 1993/1/30 ひのくに荘 21名
2. 第8回会員研究発表会（総会后）
  - ①熊本市内に生息するタヌキの生態（予報） …歌岡宏信
  - ②五木村・泉村における哺乳類の分布 …坂田拓司 長尾圭祐
  - ③市街地に生息するノネコの生態 …平川朝子
  - ④泉村の魚類 …甲守 崇
  - ⑤ネザサ類の開花結実分布とハタネズミの発生、巢穴分布の特徴 …田尻真理子
3. 第4回定例談話会 5/16 むつみ荘  
講演「大地溝帯における人類の進化の必然性」  
宮崎大学教授 岩本俊孝博士
4. 機関誌「SIGN POST」  
Vol. 8, No. 1 (4/7)  
・第8回総会報告  
・ユスリカの集め方（田畑）  
・とらぬタヌキの皮算用（松岡）  
Vol. 8, No. 2 (8/29)  
・1994年度第2回カモシカ調査と調査員募集  
・定例談話会報告  
・幸島紀行（松岡）  
Vol. 8, No. 3 (1/5)  
・北海道一人旅（松井）

### 1994年度

1. 第9回総会 1994/2/11 熊本市動植物園資料館
2. 第9回会員研究発表会（総会后）
  - ①ノネコ集団のエサ場利用と社会構造 …平川朝子
  - ②南大東島の水生昆虫 …松井英司
  - ③旭志村の哺乳類 …長尾圭祐
  - ④コシアカツバメの生態 …田畑清霧
  - ⑤熊本市白川周辺に生息するタヌキの分布…歌岡宏信
3. 第5回定例談話会 11/20 菊池農業高校  
講演「ウシ亜科の動物に見る尾骨の相似と差異」  
菊池農業高校教諭 日吉文樹

講演「動物の家畜化と褐色和種の系統史」

同 教頭 永村利勝

4. 機関誌「SIGN POST」

Vol. 9, No. 1 (4/30)

- ・9回総会報告
- ・会誌2号原稿公募

Vol. 9, No. 2 (8/31)

- ・熊本県自然保護関係団体等協議会への入会
- ・平成6年度カモシカ調査に参加して(本郷)

Vol. 9, No. 3 (1/5)

- ・内大臣山系のクマ調査ークマは生息するか(長尾)
- ・野崎島ニホンジカ区画法調査に参加して(松岡)

5. カモシカ生息調査

8/8~12 矢部町内大臣溪谷及び泉村縦木 17名

- ・糞塊調査, 植物調査

10/6~11 泉村水上越・山犬切, 水上村市房山 16名

- ・糞塊調査, 植物調査

6. 緊急ツキノワグマ調査 12/25 矢部町内大臣山系

11名(その他14名)

- ・フィールドサイン調査

1995年度

1. 第10回総会 1995/1/28 山本屋

- ・会の名称変更(熊本野生動物研究会→熊本野生生物研究会)
- ・熊本県自然保護関係団体等協議会入会について

2. 第10回会員研究発表(総会後)

- ①水生甲虫について …松井英治
- ②ゲンジボタルの生態についての研究 …坂田拓司
- ③熊本市における都市化鳥類について …坂梨仁彦
- ④蘇陽の植物について …高野茂樹・北田 薫
- ⑤毛介綺換の中の哺乳類について …西岡鐵夫

3. 第5回定例談話会 11/25 熊本大学理学部付属臨海実験所 16名

講演「海洋生態系」

熊本大学名誉教授 広田禮一郎博士

4. 機関誌「SIGN POST」

Vol.10, No. 1 (4/4)

- ・第10回総会報告
- ・「10年目を節目に」ー事務局長交代(長野)
- ・カモシカ調査報告
- ・ニホンジカの区画法調査に参加して(山本)

Vol.10, No. 2 (7/22)

Vol.10, No. 3 (9/20)

- ・1995年度第1回カモシカ特別調査に参加して(本郷・平川)

- ・カモシカ調査特別報告ー番外編ー(石橋)

- ・選ばれし生き物(山本)

- ・ついつい気がゆるんでしまった(松岡)

- ・スズメバチの大群に襲われ, 岸壁を転落(歌岡)

- ・つい, うっかり, カモシカ調査(坂本・長尾)

5. カモシカ生息調査

8/3~9 五木村仰鳥帽子岳, 水上村土用木場谷, 多良木町縦木, 錦町大平山 16名(その他5名)

- ・糞塊調査 植物調査

11/8~11 高森町筒ヶ岳一帯 12名(その他5名)

- ・糞塊調査 植物調査

1996年度

1. 第11回総会 1996/2/3 山本屋 19名

2. 第11回会員研究発表会(総会後)

- ①ニホンジカの糞消失について …坂田拓司
- ②ニホンジカのライトセンサスについて …天野守哉
- ③熊本市とその周辺のタヌキについて …歌岡宏信
- ④ネパール紀行 …津田堅之介
- ⑤ニホンカモシカの生息分布調査報告 …中園敏之

3. 第12回会員研究発表会 6/29 菊陽町ふれあいの森キャンプ場 12名

- ①トビハゼの行動パターンと食性 …石橋一也
- ②アカハライモリの初期原腸胚のオーガナイザーは原腸上唇部内胚葉である …山本嘉幸
- ③市街地におけるノネコ集団の社会関係 …平川朝子
- ④熊本市における両生類の分布 …坂本真理子
- ⑤熊本県におけるニホンジカの生息状況 …歌岡宏信

4. 哺乳類毛皮標本制作 9/7 九州自然研事務所 9名

5. 第6回定例談話会 11/16 むつみ荘

講演「植物の個性についてーカンアオイを例にー」

熊本大学理学部教授 内野明德博士

6. 熊本野生生物研究会誌第2号発行 1996/1/31

- ①序 …西岡鐵夫
- ②熊本県産爬虫・両生類方言一覧 …西岡鐵夫・北田 薫

- ③五木五家荘県立自然公園とその周辺における哺乳動物相 …坂田拓司他
- ④阿蘇南外輪山駒返峠の哺乳類 …中園敏之他

- ⑤熊本市に生息する野生動物の分布 …歌岡宏信他
- ⑥ケニアの鳥相 …田畑清霧他

- ⑦アフリカ隊報告 …長野 清他

7. 機関誌「SIGN POST」

Vol.11, No. 1 (4/25)

- ・第11回総会報告

- ・1995年度第2回カモシカ調査報告(草野)
  - ・第5回談話会報告(山本)
  - ・街だぬきの生態を見よう(歌岡)
  - ・My Life Of AMAKUSA(石橋)
- Vol.11, No. 2 (7/13)
- ・研究発表会報告(唯野)
  - ・植物園散歩(日吉)
- Vol.11, No. 3 (1/9)
- ・野崎島「野生ジカウオッチング」報告(山下・石橋)
  - ・小値賀と野崎について(津田)
  - ・シカの糞分解に関する調査の中間報告(坂田)
  - ・シカ調査に参加して(松岡)
  - ・街ダヌキ調査は今(歌岡)
  - ・タヌキ・イタチの解剖会に参加して(歌岡・唯野)
8. ニホンジカウオッチング 8/6~10 五島列島野崎島 8名(その他8名)
- 1997年度
1. 第12回総会 1997/1/31 山本屋 14名
- ・熊本県自然環境保全地域指定候補地調査(哺乳類)調査の受諾
  - ・機関誌「SIGN POST」の年4回発行
  - ・会誌第3号発行準備
2. 第13回会員研究発表(総会後)
- ①熊本市都市部に生息するタヌキの生態研究 …歌岡宏信
- ②最近の環境行政の現状について …中園敏之
- ③森と川と干潟と野鳥 …高野茂樹
3. 第14回会員研究発表会 10/18 菊陽町公民館 8名(その他1名)
- ①いくつかの観察に基づく、シギ・チドリ類の渡り中継地において用いる環境と地域についての仮説—有明海の干潟の重要性— …塚原和之
- ②九州におけるニホンジカの糞消失に関する実験 …坂田拓司
- ③都市部におけるタヌキの行動圏とその利用 …歌岡宏信
- ④高校生物教育における「科学事例史法」—「進化論」の教材の開発— …北田 薫
4. 第7回定例談話会 12/6 熊本テルサ 15名
- 講演「環境問題の基本的なとらえ方」  
熊本工業大学教授 今江正知博士
5. 機関誌「SIGN POST」  
Vol.12, No. 1 (4/19)
- ・第12回総会報告
  - ・第4回大島カイツサギ調査に寄せて(藤吉)
  - ・植物園散歩Ⅱ(日吉)
- Vol.12, No. 2 (7/12)
- ・自然環境保全地域指定候補地の調査について
  - ・牛深大島カイツサギ調査に参加して(坂田)
  - ・牛深大島哺乳類調査結果速報(歌岡)
  - ・カブトムシ・クワガタ採集報告(平川・歌岡・鈴木)
  - ・アナグマとの遭遇(坂田)
  - ・イタチとチョウセンイタチの分布調査協力のお願い(中園)
- Vol.12, No. 3 (9/29)
- ・野崎島野生ジカウオッチング報告(井芹)
  - ・オーロックとバイソン(日吉)
  - ・警戒標識116(長野)
6. 第4回カイツサギ生息調査 5/10~11 牛深大島 10名(その他2名)
- ・カイツサギ生息密度調査(糞粒法・ライントランセクト法)
  - ・小型哺乳類生息調査(トラップ・自動撮影装置)
7. カブトムシ・クワガタ採集会 7/6 熊本市立田山 5名(その他7名)
- ・講義「樹液に集まる昆虫」 富島雄治
  - ・カブトムシ・クワガタの幼虫と成虫の観察と採集
  - ・タヌキの溜糞の観察
8. 野生ジカウオッチング 8/11~13 五島列島野崎島 3名(その他6名)
9. 熊本県自然環境保全地域指定候補地調査(哺乳類) フィールドサイン・目撃調査, トラップ調査, 自動撮影装置設置, 現地聞き取り調査
- 第1回 11/22~24 水俣市無田湿原・水俣市大川 6名(その他1名)
- 第2回 1/24~25 山鹿市一つ目神社 5名(その他1名)
- 1998年度
1. 第13回総会 1998/1/31 山本屋 14名
- ・機関誌にカラーページを導入
  - ・環境教育に関する取り組み
2. 第15回会員研究発表会(総会後)
- ①まぼろしの動物に出会う—ブークワンウシー
- ②熊本県自然環境保全地域指定候補地哺乳類調査中間報告 …坂田拓司
- ③竜門ダム周辺におけるネコ目4種の食性—糞分析の結果— …中園敏之
3. 第16回会員研究発表会 11/7 熊本市立商業高校 14名(その他1名)

- ①自然観察会に携わって …田畑清霧 18名  
 ②オーストラリア旅行記 …天野守哉  
 ③対馬におけるイエネコの生態 …平川朝子  
 ④コンピュータによるプレゼンテーション…坂田拓司
4. 第8回定例談話会 7/4 国際交流会館 18名(その他4名)  
 講演「鳥類の繁殖戦略」  
 九州大学助教授 江口和洋博士
5. 機関誌「SIGN POST」  
 Vol.13, No.1(4/10)  
 ・第13回総会報告  
 ・今江正知先生の談話会報告とその後の雑感(長野)  
 ・自然環境保全指定候補地調査中間報告(坂田・坂本)  
 Vol.13, No.2(7/12)  
 ・自然環境保全地域指定候補地の調査報告(坂田・平川・歌岡・森山・河島)  
 ・熊日新聞「期待される計画的な保護管理計画」  
 H10.6.1付
- Vol.13, No.3(9/27)  
 ・宮崎幸島・都井岬, ニホンザルと野生ウマ観察ツアー報告(坂本)  
 ・定例談話会報告(植木)  
 ・牛深大島に生息するカイウサギの最新情報(坂田)  
 ・熊本市谷尾崎町でイノシシと遭遇(坂田)  
 ・せんがんじー(平)
- Vol.13, No.4(12/26)  
 ・第4回くまもと自然保護講演会報告(坂田)  
 ・会員研究発表会報告(歌岡)  
 ・緑川ヌートリア調査報告(植木・久保田)
6. 熊本県支援環境保全地域指定候補地調査(哺乳類)  
 フィールドサイン・目撃調査, トラップ調査, 自動撮影装置設置, 現地聞き取り調査  
 第3回 2/14~15 芦北町大関山一帯 5名(その他1名)  
 第4回 4/11~12 水俣市恋路島2名(その他1名)  
 第5回 5/9~10 球磨村大槻・坂本村走水滝 5名(その他1名)
7. サル・ウマ観察ツアー 8/7~9 宮崎県幸島・都井岬 2名(その他5名)  
 ・野生のニホンザルとウマの観察
8. ヌートリア調査Ⅰ 11/28 緑川・御船川合流地点 6名  
 ・フィールドサイン調査, 直接観察調査
- 1999年度
1. 第14回総会 1999/2/7 熊本市総合女性センター
- ・熊本県自然環境保全地域指定候補地調査の中止と報告書作成  
 ・会費値上げ(2000年より一般会員4000円, 学生は据え置き2000円)  
 ・サインポストをA4版とする
2. 第17回会員研究発表会(総会時)  
 ①長崎県のヤマネ …松尾公則  
 ②県内に生息するタナゴ類 …甲守 崇  
 ③モンゴル旅行記 …富島雄治  
 ④新環境アセス法について …中園敏之
3. 第18回会員研究発表会 12/11 熊本市立商業高校 16名(その他6名)  
 特別講演「野崎島のシカの生態」  
 森林総研九州支所研究員 遠藤 晃博士  
 ①県内のクロツラヘラザギの越冬地 …高野茂樹  
 ②ケニアの生物と人々と暮らして …石橋一也
4. 第9回定例談話会 9/25 矢部町中央公民館 15名(その他15名)  
 講演「カワガラスの生態」  
 九州大学理学部 小藤弘美博士  
 ・五郎ヶ滝川でのカワガラスの観察会, 男成神社でのムササビ観察会も実施
5. 機関誌「SIGN POST」  
 Vol.14, No.1(3/6)  
 ・第14回総会報告  
 ・第17回会員研究発表会報告
- Vol.14, No.2(6/28)  
 ・第5回牛深大島カイウサギ生息調査報告(坂田・山下・坂梨)
- Vol.14, No.3(11/1)  
 ・第18回会員研究発表会報告(田畑)
- Vol.14, No.4(12/21)  
 ・第9回定例談話会報告  
 ・ケニアの風その1(石橋)  
 ・第5回熊本市自然保護講演会(植木)
6. 第5回カイウサギ生息調査 5/8~9 牛深大島 7名(その他3名)  
 ・カイウサギ生息確認調査(ライントランセクト法, 糞粒法, 直接観察法, 自動撮影装置設置)  
 ・植生調査  
 ・鳥類生息調査
7. 緑川ヌートリア調査Ⅱ 9/18 緑川・御船川合流点 3名  
 ・フィールドサイン調査, 自動撮影装置設置
8. 熊本野生生物研究会誌第3号発行準備

・編集委員会編成，審査員依頼，原稿募集

2000年度

1. 第15回総会 2000/2/6 山本屋 21名  
・川辺川ダム問題調査委員会からの意見聴取について
2. 第19回会員研究発表会（総会時）
  - ①フィリピン・ルソン島の生き物たち  
…高野茂樹・坂本真理子
  - ②牛深大島のカイウサギと植生…歌岡宏信・山下桂造
  - ③熊本県の水生昆虫相 …松井英司
  - ④熊本県自然環境保全地域指定候補地調査地の哺乳類  
…坂田拓司
3. 第10回定例談話会 12/16 千原台高校  
10名（その他7名）  
講演「文化財について」 会長 西岡鐵夫  
発表 市房山生物調査報告 田畑清霧・坂田拓司
4. 機関誌「SIGN POST」  
Vol.15, No. 1 (4/10)  
・第14回総会報告  
・第19回会員研究発表会報告  
・ケニアの風その2（石橋）  
・疥癬タヌキ出水市で確認（歌岡）  
Vol.15, No. 2 (7/21)  
・竜門ダム周辺自然観察会報告  
・自然保護関係団体協議会総会報告  
・カワネズミ捕獲（坂田）  
Vol.15, No. 3 (10/28)  
・第1回天草地域における生物の分布調査報告  
・熊本県南部でも疥癬タヌキを確認か？（楢木）  
・ケニアの風その3（石橋）  
Vol.15, No. 4 (12/29)  
・第10回定例談話会報告  
・疥癬タヌキ目撃される（歌岡）  
・竜門ダム周辺自然観察会 5/13~14  
10名（その他5名）
5. 第1回天草地域における生物の分布調査  
8/26~27 8名（その他6名）
6. 熊本野生生物研究会誌第3号発行準備  
審査作業